

沿革

広島大学技術センターは、平成16年4月の国立大学独立法人化と同時に発足いたしました。

発足当時は学内の各部局等に設置されていた「技術部」を母体とした7部門（情報メディア教育研究センター等部門、理学部等部門、医学部等部門、工学部等部門、先端物質科学研究科部門、生物圏科学研究科部門、原爆放射線医科学研究所部門）で構成されていました。平成20年4月に業務内容を軸にした部門改組を行い、6部門（情報部門、環境管理部門、工作部門、理工学系部門、医学系部門、フィールド科学系部門）の構成になりました。

さらに、本学における大学運営方針への対応（機器集約化・工作センター化等に対する支援の強化、全学ニーズに合わせた支援体制の強化）を主な目的として、平成22年4月に再び部門改組を行い、4部門（共通機器部門、工作部門、医学系部門、フィールド科学系部門）の構成になっています（平成22年度現在）。